

# 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和6年度第5回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	令和6年11月13日(水) 14時～16時		
開催場所	小金井市野川クリーンセンター		
出席者	委員	<出席者：14名> 渡辺会長・岡山副会長・溝入委員・岸野委員・光明委員・中村委員・橋爪委員・林委員・多田委員・清家委員・保谷委員・長友委員・石原委員・井上委員  <欠席者：1名> 北村委員	
	事務局	今井ごみ対策課長・鈴木ごみ処理施設担当課長・立崎減量推進係長・竹内清掃係長・高橋施設係長・高花主任・菊地主事	
	計画策定 支援受託者	パシフィックコンサルタンツ株式会社 米田 理律子管理技術者、三浦 拓徒担当	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会  2 報 告  3 議 題 (1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画等について (2) 令和7年度小金井市一般廃棄物処理計画について (3) その他  4 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

渡辺会長	これより令和6年度第5回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。
立崎減量推進係長	(配付資料確認) (会議録確認) (「資料1」について説明) (事前質問とそれに対する事務局の見解)
中村委員	費用対効果の確認は必要である。ごみ処理費用の削減と、費用のかかる取組を合わせて考え、効率の良い施策を実施すべきだと思う。 単純に予算内でできるからということで選択肢として挙げてしまうと、効果の高さではなく「参加して楽しい」「子どもも楽しめる」というような興味本位で選ばれてしまうことが不安要素である。
渡辺会長	ごみの減量は、単純にごみが減った分の処理費用の減少だけでなく、製造に係る環境負荷の減少効果についても注視したい。
橋爪委員	依頼文を見たときに、市と市民が一体となっごみの削減に取り組んでいるという姿勢が書いてあるとより結果に活きてくるのではないかと思う。例えば、前回のアンケート結果が依頼文の中に提示されていると、やる気の向上、回答率の向上に繋がると思う。 アンケートに回答するのは、基本的に熱心な方が多い傾向にあると思うが、そうでない方の回答率もあげることが重要なのではないか。
渡辺会長	全体を通した意見はあるか。
石原委員	橋爪委員のおっしゃるとおりだと思う。資料4と5の内容について、確かに市や市民も皆一生懸命やってきたのは確かだが、この辺はごちゃごちゃ書かないで、「今までごみ非常事態宣言を発令から一生懸命取り組んできて、今後も継続して減量させていきたいので協力お願いしたい」というように、

岡山副会長	<p>もう少し簡潔でインパクトのある鑑文にした方がいいのではないか。</p> <p>市民と行政と業者の三位一体となって今後も進めていく姿勢を見せるのはどうか。</p>
石原委員	<p>文章が多く見づらいという意見はごもっともである。</p>
岡山副会長	<p>人によって価値観は異なるが、詳しい情報はホームページ等にアップしておけばいいのではないかと思うがいかがか。</p>
中村委員	<p>このアンケート調査の目的は、意識を把握して今後活用していくということなので、そうすると前段部分の内容をもう少し簡略化するほうが良い。</p>
長友委員	<p>結論を先に書くこと。その他、一般的に着色部や下線部を中心に見られることなどを意識して、構成を見直してほしい。</p>
石原委員	<p>デザインの観点で考えると、内容を削ることではなく、記載順を入れ替える、枠を設けて伝えたい部分を強調する、文字の大きさや色を変えるなどの措置をするのがよいと思う。</p>
渡辺会長	<p>結論をわかりやすく記載いただきたい。</p>
事務局	<p>各委員の意見のとおり、資料4と5の結論部分である最後の3行を強調させるような修正にすればよいのではないか。</p>
中村委員	<p>今回の審議会です承を取りたいと考えていた。また、本日出した資料は、前回の審議会での意見を踏まえたものである。今回修正を入れて、手戻りがあると困るので、確実な方向性を決定していただきたい。</p>
今井ごみ対策課長	<p>本日の意見を踏まえると、依頼文を簡素化し、詳細事項を裏面に記載するのはいかがか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>今回提示させていただいたものは、前回の意見も踏まえたものであるが、市で非常事態宣言を発令し、その後市としてしっ</p>

	<p>かり廃棄物処理施設の環境整備を進め、これが一段落したということである。</p> <p>については、これらの施設をしっかりと適正に維持管理していくためにも、市民の皆さんのご協力が必要なので、その基礎資料としての意向調査を行い、基本計画に取りまとめていきたい。</p> <p>今後、市として適正な処理を進めていくためのこのスタート地点を皆様と共有したいとの思いで書かせていただいた。省略、加筆は可能ではあるが、今回の審議会で着地点を見つけたところである。</p>
井上委員	<p>背景部分は箇条書きにするのはいかがか。市民の中でも、ごみ非常事態宣言が終了していることや、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設での処理について知らない方が一定数いるように感じる。</p>
今井ごみ対策課長	<p>現行の一般廃棄物処理基本計画策定時の市民アンケート調査を実施以降、実に6年間、この間の年表というかその流れを今回記載しているので、そういったところで良いのか、それともごみ非常事態宣言が発令された原因から全てを含めて書くのか。その辺りのご意見をいただきたい。</p>
林委員	<p>事務局案で良いと考える。アンケートの目的は、基本計画の見直しへの反映とと思っているので、その目的が明確化されていれば良い。前回のアンケート結果と比較して意識、啓発部分が向上しているのか気になるところである。</p>
岡山副会長	<p>基本的には今回の審議会後の修正は最低限にしたい。字の大きさを変える。最後の3行の強調、順番の入れ替え、市長の名前にする、2から11行目は裏面へ、という修正方針はいかがか。</p>
光明委員	<p>行間を詰めるのはどうか。</p>
石原委員	<p>デザインに関しては事務局に一任したい。</p>
中村委員	<p>今回のアンケートの結果が計画策定の内容に大きく寄与す</p>

<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>るのか。</p> <p>ごみの減量に熱心な方だけではなく、関心がない方のごみについても適正に処理する必要がある。そのため、環境をしっかりと整備していくということと、それになう施策を立案、実行していく責任を我々は持っている。それらをまとめたものを一般廃棄物処理基本計画で、市がどういった方向性でその施策を展開していくのかというのをまとめるというのが今回の計画策定の趣旨である。</p> <p>案としてできたものに対するフィードバックについては、素案確定後のパブリックコメントにて実施する予定である。修正案に関しては、デザイン等工夫させていただき正副会長一任の形を取らせていただきたいがいかがか。</p>
<p>審議委員</p>	<p>(了承)</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>事務局からの修正案を踏まえて正副会長一任とさせていただく。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>引き続き小金井市一般廃棄物処理基本計画等策定支援委託の受託者より今回配付したアンケートの提案内容についてご説明させていただく。</p>
<p>計画策定支援受託者</p>	<p>(「資料2」について説明)  (「資料3」について説明)  (「資料4」について説明)  (「資料5」について説明)</p>
<p>林委員</p>	<p>資料2のQ9⑤について、市としては料理持ち帰りサービスの推奨はできないという認識か。</p>
<p>今井ごみ対策課長</p>	<p>市としては推奨しにくい。国での審議状況などを確認すると「勧めたい」とは言っているものの、保健所の管轄や食品衛生法の観点ではまだ議論を深められていない状況のようだ。持ち帰りを禁止するものではないが、それらを踏まえると市として推奨する姿勢は取りづらく、あくまでも事業者の</p>

	自己責任の範囲内での実施のお願いとなる。
渡辺会長	大手のファミレスなど、一部の飲食店では持ち帰りサービス推進の動きもある。
林委員	資料2のQ10③について、廃棄の際、リチウムイオン電池が入っているかの確認をしているかどうかの設問が必要ではないか。
岡山副会長	電動付き自転車のバッテリーなど外れやすいものはわかりやすいが、ハンディファンや電子タバコなどの小型のものは外れないようになっていて非常に分かりにくい。
渡辺会長	認識できていないということが明らかになるような聞き方にしたほうがよさそうである。
林委員	そういうことを意識して廃棄しているかという聞き方にするのはどうか。
岡山副会長	あるいは内臓品について例示をしてはどうか。
事務局	電池が入っている・入っていないもそうだが、電池が切れて製品が動かなくなっても「電池は生きています」ということを啓発しなくてはならない。安易に捨てないことの啓発も必要である。
渡辺会長	リチウムイオン電池に限らず、充電式電池ということで、充電できるかどうかというのは使っていれば分かる話なので、そこは大丈夫だと思う。
橋爪委員	充電式電池製品を販売店に返却して良いのか。
今井ごみ対策課長	「販売店等の拠点回収」がそれにあたる。
中村委員	ボタン電池も発火の危険があるのか。また、リチウムイオン電池以外のニッケルカドミウム電池等の充電式電池の問題性

渡辺会長	<p>はどうなのか。</p> <p>リチウムイオン式のボタン電池は発火の可能性がある。充電式電池（リチウム・水素など）の種類を判別することは難しいことから、現在の設問案としたのだと思う。</p>
今井ごみ対策課長	<p>最近起きている発火事故の原因のほとんどが充電式電池、特にリチウムイオン電池を使ったバッテリーによるものであり、本市でもこの審議会前日にパッカー車が発火する事故が発生した。</p> <p>こうした状況から現在、国を挙げてリチウムイオン電池の混入防止の啓発に関する通達が自治体にも届いているので、ここについてはしっかりと力を入れてやっていきたい。</p> <p>本市において資源物処理施設が令和7年3月に稼働するが、選別機を使って電池を取り外す作業が必要となるため、市の施設に直接リチウムイオン電池等が運び込まれる可能性や危険性があるので、その周知は徹底しておきたい。</p>
岡山副会長	<p>市民がその危険性やリスクを理解していないことも要因である。危険性があることを知っているかについて確認する設問が必要ではないか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>設問の中にその文言を入れる対応としたい。回答率向上のためにも設問数を増加させるのは避けたい。</p>
光明委員	<p>充電式という文言を入れる必要があるのか。問題が何かを明確にすべきでは。</p>
今井ごみ対策課長	<p>乾電池は大体取り外してくれている。今問題なのは、取り外せない充電式電池であるため、それについて確認をしたい。</p>
光明委員	<p>「充電式」と記載すると、購入者が充電できる製品と認識されるが、それで良いか。</p>
岡山副会長	<p>コードがついていない充電式製品という表現や記載が考え</p>

	<p>られるが、どのような製品であるかという補足情報を後から付け足すとかえってわかりにくいので、ここでは充電式電池（リチウムイオン電池等）が内蔵されている製品とするのが良いのではないか。</p>
井上委員	<p>充電式の電気製品（リチウムイオン電池などが内蔵されている製品）としたほうがわかりやすいのではないか。</p>
渡辺会長	<p>充電式電池とするのか充電式家電製品とするのか。</p>
溝入委員	<p>充電式電池で何の問題もない。</p>
岡山副会長	<p>充電式電池等が内蔵されている製品による発火事故が増加している。を加えていただきたい。</p>
渡辺会長	<p>そのあとに括弧書きとかの方がわかりやすいかもしれないが、この辺の表現は事務局に一任する。</p>
石原委員	<p>前日の発火の原因は何か。</p>
今井ごみ対策課長	<p>コードレスの掃除機である。故障かどうかわからず1回充電して通電してみたが、それでもやっぱり動かなかつたから、そのまま捨ててしまう。という形だと充電された状態で廃棄されることから発火事故のリスクが高まる。現状、年に1回発火事故が起きている。</p>
渡辺会長	<p>衝撃が加わると発火する。</p>
溝入委員	<p>パッカー車の中で圧縮され、粉砕機で粉砕したりするときに衝撃が加わる。</p>
渡辺会長	<p>今議論があったところの反映をお願いしたい。</p>
中村委員	<p>資料3のQ8の選択肢15のコンマを修正する。</p>
岡山副会長	<p>資料2のQ9③の設問について、2の賞味期限・消費期限</p>

渡辺会長	<p>で一緒になっている設問を分けていただきたい。例えば、消費期限の近い食品を早めに使う、その下に賞味期限が過ぎたものは早めに食べる。という形にしてはいかがか。</p> <p>賞味期限の場合は過ぎても使えるので、その辺の表現を考えたほうが良い。</p>
岡山副会長	<p>日常生活で捨てたことがあるかという設問なので、賞味期限が切れたら早めに食べるというのは問題がある文章ではないと思うがいかがか。</p>
渡辺会長	<p>設問を分ければ、賞味期限に関しては過ぎても大丈夫なので表現を変えないといけない。</p>
岡山副会長	<p>2が消費期限の近い食品を早めに使う。3は賞味期限が過ぎたら早めに食べる、とする。</p>
渡辺会長	<p>他にご意見はあるか。</p>
岡山副会長	<p>資料2のQ10②については、正しい排出方法を記載する必要はあるのか。回答誘導の要因とはならないか。</p>
中村委員	<p>プラスチックのリサイクルには、マテリアルリサイクル、サーマルリサイクル、ケミカルリサイクルがあると思うが、小金井市ではどのリサイクル方法になるのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>来年2月から容器包装リサイクル協会に引き渡し、再商品化を行う。</p>
渡辺会長	<p>引き渡した後、協会側がそれぞれの登録事業者（入札事業者）に引き渡しを行う。</p>
中村委員	<p>協会側からプラスチックを洗って出すことを指示されているのか。</p>
今井ごみ対策課長	<p>水で軽くゆすぐ程度、あるいは拭き取るよう示されている。</p>

林委員	資料2のQ10②の2の「汚れを落とさないで」という表現には違和感がある。
岡山副会長	1を「きれいに落として」2を「だいたい汚れを落として」にするのはどうか。
今井ごみ対策課長	「きれい」と「だいたい」の違いを聞かれるので別の表現にしたい。
岡山副会長	1は「水でゆすぐか拭き取って汚れを落とし」、2は「汚れが多少ついていても」ではどうか。
渡辺会長	そうであれば、1は「汚れを落として」2は「汚れを気にせず」で良いのではないか。
計画策定支接受託者	先ほどご意見いただいた資料2のQ9③の2賞味期限と消費期限の選択肢のところであるが、ご指摘のとおり選択肢は分けるが、同じ人がどちらの選択肢も選ぶ可能性が高いことを考慮し、回答は3つまでの制限をなくし、いくつでも可能とする。
渡辺会長	資料2のQ7の選択肢⑦について、ごみ減量啓発DVDを見ない人の関心が薄いという意見があったため、DVDの貸し出しよりもごみ減量啓発アニメーションの制作・公開という表現の方が良いのではないか。
今井ごみ対策課長	HPで紹介している取組はDVDの貸出のことであり、公式YouTubeは別内容であるため、現行施策としてはこれで間違いない。
渡辺会長	アニメーション作成は良いと思うがDVDを見ないからという人が選択できない。DVD貸出は削除しなくて良いが、アニメーション制作・公開を追記するのはいかがか。
今井ごみ対策課長	修正する。

岸野委員	資料2のQ7③について、市報ごみ減量・リサイクル特集号は年4回ではなく、年3回全戸配布なので、修正が必要である。
渡辺会長	今回の審議会でアンケートを固めることが目的である。よろしければこれでまとめていただき、正副会長で確認させていただく。
今井ごみ対策課長	正副会長確認後、メール等で審議会委員全体に共有する。「令和7年度一般廃棄物処理計画」については、先日計画案を配付させていただいたが、引き続き内容をご確認いただきご意見等あれば頂戴したい。
事務局	11月中にメールでご意見を募集し、12月の審議会で修正案を提示したい。
事務局	(令和7年度ごみ・リサイクルカレンダー審議結果報告)
渡辺会長	これをもって、審議会を終了する。